

平成 25 年度 事業評価総括

平成 25 年度に(公財)浜松市文化振興財団文化事業課にて開催した鑑賞型事業 13 本 (20 公演) について、内部事業評価を実施しました。評価指標は平成 24 年度事業評価と同様のものです。

(1) 実施した内部事業評価項目

- ① 目標設定
事業開催目的及び狙い、損益分岐点の設定、予算設定、収益目標額、自主財源投入予定額
- ② 事業成果と評価
目的及び狙いの達成度、入場者・参加者・実績値、収支状況
- ③ 結果確認、改善点および今後の方向性
達成度・実績値・収支状況による総合評価、担当者・所属長による状況分析及び改善点

(2) 内部事業評価結果による平成 25 年度開催事業の総括

- ① 総合評価
13 本中、「良好だが一部問題あり (B 判定)」との結果が 1 本、その他は「優秀な水準 (A 判定)」が 11 本、「卓越した水準 (AA 判定)」が 1 本となった。
「一部問題あり」となった事業はピアニストを招いた海外オーケストラの公演だった。著名ピアニストの公演だったが、日本でも公演回数が多いこともあり、チケット販売数が伸び悩んだ。また、ピアニストの体調不良のためプログラムが当日一部変更になった。変更前のプログラムを期待していた来場者から苦情をいただくなど、満足度が低くなってしまった。長年日本で演奏活動を続けている知名度の高い海外アーティストの傾向を考える際の参考データとする。
そのほかの公演は券売率・収支状況など、おおむね良好な結果となった。人気出演者によるチケット完売公演や、良好な収支状況など全体的に「水準の高い事業開催」と評価できる。今後もこのような高い水準を維持するため、平成 25 年度の事業評価内容を今後の事業選定に活かしていく。
なお、平成 25 年度事業の事業評価については、平成 26 年度開催事業選定時前に評価内容についての総括会議を課内で行い、意見交換・課題整理を行った。
- ② 内部事業評価の効果
事業企画において「選定」から「実施」、「結果」、「今後の考察」までのいわゆる“PDCA サイクル”に基づいた事業運営を行うことで、様々な要素を見直すことができ、今後の事業選定に有益な資料を蓄積することが可能となる。同じ内容の事業を開催することは短期的なサイクルでは少ないが、市民の潜在的な需要や販促ターゲットなどの参考とする要素は存在している。引き続き本内部評価を継続することにより、当財団の事業開催における貴重なノウハウを蓄積していく。

(3) 評価点基準及び総合判定基準根拠

I 目標達成度

満足度	アンケート結果による顧客満足度（よい・大変良いの集計）の割合。 そのまま評価点に表記。
-----	--

II 参加者等

券売率	当初設定された有効販売数に対する販売実績率。100%で完売。
入場率	有効座席数に対する入場者実績率。100%で満席。
達成率	券売目標率に対する券売率の達成率。100%で目標達成。

評価点は下記の表により決定

	点数
満席	100
目標達成率 101%～満席未満	90
目標達成率 100%～91%	80
目標達成率 90%～81%	70
目標達成率 80%～71%	60
目標達成率 70%～61%	50
目標達成率 60%～51%	40
目標達成率 50%～41%	30
目標達成率 40%～31%	20
30%以下	10

Ⅲ収支状況

収入率	当初予定収入額に対する収入実績率。100%以上で収入増。
支出率	当初予定支出額に対する支出実績率。100%以下で経費削減。
財源投入率	当初予定されていた自主財源投入額に対する投入額実績。 100%以下で投入額減少。0%で投入額0円、事業単体で収支は黒字。 また予定されていなかった投入額については総事業費との割合で表記。

評価点は下記の表により決定

	点数
完売	100
収支プラス～完売未満	90
収支0円～9%減	80
10%減～19%減	70
20%減～29%減	60
30%減～39%減	50
40%減～49%減	40
50%減～59%減	30
60%減～69%減	20
70%減以上	10

※収入には自主財源等を含める

総合判定 評価総合結果の点数により、下記の通り設定

90点～	AA 卓越した水準
70点～	A 優秀な水準
40点～	B 良好な水準だが一部問題あり
20点～	C 一応の水準だがかなり問題あり
0点～	D 多くの問題あり

(4) 事業評価結果一覧

■事業概要					
事業名	浜名梱包クラシックスペシャル アクト・ニューアーティスト・シリーズ 2013. 4-2014. 3				
開催日・場所	平成 25 年 5 月 26 日、7 月 15 日、9 月 15 日、12 月 15 日、平成 26 年 2 月 23 日 全 5 回 アクトシティ浜松 音楽工房ホール				
基本方針分類	交わる（演奏会・アフタートークを通して若手アーティストとの文化交流を深める）				
内容・目標	<p>浜松では、有名なアーティストの演奏会はあっても、今後の活躍が期待される若手アーティストの演奏会はまだまだあまり頻繁には開催されていない。実力があり、魅力的な若手アーティストに演奏の機会を提供することで、演奏を聴いた市民が今後の活躍に注目し、音楽への関心を高めていくことを目的としている。</p> <p>クラシック初心者でも来場しやすい価格設定や、割引いたお得な価格のパスポート（5 回通し券）を設定することでリピーターを増やし、クラシックファンの拡大を狙う。</p> <p>アクトシティオープン以来続けているシリーズであり、平成 26 年度には 100 回目の公演を迎える。</p>				
■事業成果と評価				評価点	
I 目標達成度（満足度）	85.3%	アンケート回収枚数 314 枚 回収率 33.4%		85.3 点	
II 参加者等	券売率	85.5%	目標としていた券売率は達成。5 回公演分のパスポートチケットの売れ行きは昨年並みだったが、1 回券の売れ行きが良かった。	90 点	
	入場率	82.6%			
	達成率	101.1%			
III 収支状況	収入率	107.8%	人気アーティストの公演がありチケット収入増	80 点	
	支出率	100.9%	ほぼ予算通りの実施		
	財源投入率	88.9%	チケット収入増のため当初予定より投入額減少		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	85.3 点	30	25.6 点	
	II 参加者等	90 点	40	36 点	
量的成果	III 収支状況	80 点	30	24 点	
			合計	85.6 点	
状況・改善点	<p>広報面での新規取組、開演時間の変更を行い、この事業の特徴である「演奏者に近い演奏会」をさらに充実することができた。ただし、会場のキャパシティからくるチケット収入の最大数値を考慮し、広報手段については経費面もしっかり考慮していかなければならない。平成 25 年度からは、出演者の選定について職員が様々な情報を集め、かつコンクールなどは現地へ出向き、実際に演奏を聴き演奏者の選定を行った。年間を通してバラエティ豊かなラインナップになった事も集客面に繋がっていると考え。今後もこのような選定方法を継続することによって、職員のスキルをあげるとともに、他の事業にも活用できる人脈を構築して行くことが求められる。</p>				

■事業概要					
事業名	佐渡裕指揮「BBCフィルハーモニック日本ツアー2013」ピアノ：辻井伸行				
開催日・場所	平成25年4月15日 アクトシティ浜松 大ホール（大規模）				
基本方針分類	交わる・育てる（世界的な芸術文化に触れる場の提供と、市民の音楽文化満足度を高めるとともにクラシックファン層の裾野を広げる）				
内容・目標	集客力の高い佐渡裕氏と辻井伸行氏の組み合わせを浜松に招聘することにより、クラシックファンのみならず、平素音楽に関心の薄い層にもクラシック公演をアピールする。クラシックファンの満足度を高めるとともに、クラシックファン層の裾野を広げることが目的。				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	89.3%	アンケート回収枚数 609 枚 回収率 27.2%			89.3 点
II 参加者等	券売率	97.5%	チケット予約日にはほぼ完売。		100 点
	入場率	96.3%			
	達成率	107.0%			
III 収支状況	収入率	143.3%	チケット完売のため当初目標を大幅に超えた。		100 点
	支出率	112.3%	会場使用料が予算より増えたため。		
	財源投入率	0%	計画段階から財源投入予定なし		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 AA
質的成果	I 目標達成度	89.3 点	30	26.8 点	
量的成果	II 参加者等	100 点	40	40 点	
	III 収支状況	100 点	30	30 点	
			合計	96.8 点	
状況・改善点	<p>テレビ局との共催事業。両社が経費を負担し損益分を折半。 人気アーティスト、わかりやすいプログラムによりチケットは発売と同時にほぼ完売した。一部で「曲目が安直」とのアンケートもあったが、クラシック層を広げていくには効果的な方法だと考える。マナーについての厳しいご意見もいただいた。今後の事業展開の中でご来場のお客様にマナーについてお伝えしていく必要性を感じた。特に交響曲の楽章間での拍手には厳しい意見が多数あった。</p>				

■事業概要					
事業名	おかあさんといっしょ「ポコポッテイトがやってきた！！」(2回公演)				
開催日・場所	平成25年4月29日 アクトシティ浜松 大ホール(大規模)				
基本方針分類	交わる・育てる(演出や構成を工夫した公演で、次代の文化を担うこどもたちの育成を主眼とし、歌や人形劇、身体表現を通して今後の関心につながるきっかけとなることや、就学前のこどもと保護者がわかりやすく舞台公演を楽しむことができる機会を提供)				
内容・目標	子供の教育にとって必要な要素を網羅した参加型の良質なステージは、積極的に見たり聴いたり参加することにより子供たちに沢山の笑顔をもたらす情操教育。長寿テレビ番組の劇場版であるため、親子で同じステージを観て記憶や感想を共有できる機会を提供。				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度(満足度)	89.3%	アンケート回収枚数 311枚 回収率8.9%			89.3点
II 参加者等	券売率	98.9%	人気が高く、チケットの売れ行きは好調。ただし、完売にまでは至らなかった。		80点
	入場率	97.2%			
	達成率	100%			
III 収支状況	収入率	98.9%	チケットが若干残ってしまった。		80点
	支出率	101.6%	若干の支出増。この支出増が赤字に影響。		
	財源投入率	2.7%	予算上は投入予定0円。若干の赤字のため投入。		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	89.3点	30	26.8点	
量的成果	II 参加者等	80点	40	32点	
	III 収支状況	80点	30	24点	
			合計	82.8点	
状況・改善点	未就学児が最後までコンサートを飽きずに楽しめるよう、キャラクター、歌、ゲーム等、全体の構成が効果的に観客の心をつかむプログラムのため、今後も安定した満足度が期待できる公演。こども対象の事業を複数回実施してきたノウハウを活かして、目立ったトラブル・けが・事故などが全く起きない安全な事業運営を行うことができている。今後もそのノウハウを活かして安全に鑑賞ができる環境を整えていく必要がある。ただし、チケット販売が好調にもかかわらず、若干の赤字。経費面を工夫し改善するよう今後の課題とする。				

■事業概要					
事業名	パーシー・フェイス オーケストラ				
開催日・場所	平成 25 年 5 月 29 日 アクトシティ浜松 大ホール（中規模）				
基本方針分類	育てる・交わる（往年の名オーケストラによる優れた演奏の鑑賞機会の提供及び市民の文化的満足度の向上）				
内容・目標	作曲家、指揮者、音楽プロデューサーであったパーシー・フェイス率いる往年の名オーケストラ「パーシー・フェイスvオーケストラ」による映画音楽を中心としたプログラムで構成したコンサート。1950～70年代に全米ヒットチャート第1位を出し当時の映画ファンや根強いオーケストラファンが多い。クラシック音楽とはまた違ったポピュラーな音楽の鑑賞機会を提供する。				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	88.2%	アンケート回収枚数 297 枚 回収率 23.6%			88.2 点
II 参加者等	券売率	82.6%	昼の部は完売に近い状態だったが、夜の部は前回開催時より大幅に減少。夜の部は終演時間が遅くなるため、高齢者の方々が敬遠される傾向がある。		90 点
	入場率	81.2%			
	達成率	103%			
III 収支状況	収入率	100%	契約によりチケット販売額などに応じた収入。ほぼ見込み通り。		90 点
	支出率	102.8%	見込みを超えた分は契約先負担。		
	財源投入率	0%	当初より自主財源投入予定なし・実績もなし。		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	88.2 点	30	26.5 点	
量的成果	II 参加者等	90 点	40	36 点	
	III 収支状況	90 点	30	27 点	
			合計	89.5 点	
状況・改善点	<p>招聘会社とのマネジメント契約。支出リスクを伴わない固定収入型の契約形態。マネジメント事業としてリスクを伴わないが、券売目標通りの結果となり集客面でも良好な結果となった。ターゲットとなる年代層を明確にして、告知もそれに準じた方法を取り、集客につながったと考えられる。ただ、ターゲットに合わせた券売方法など今後課題となる点もあり、他都市では完売した公演のため、調査研究する必要がある。</p>				

■事業概要					
事業名	ストラディヴァリウス サミット・コンサート 2013				
開催日・場所	平成 25 年 6 月 7 日 アクトシティ浜松 大ホール（中規模）				
基本方針分類	育てる・伝える（良質な公演を適正な価格で浜松に招聘し、音楽文化満足度の向上及び、歴史的楽器ストラディヴァリウスの音色を聴く機会を提供）				
内容・目標	世界最高峰チェロ「マーラー」を含む名器ストラディヴァリウス 11 台を使用した公演。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のトップメンバーによる室内楽コンサート。楽器総額 90 億円。2011 年に続く 2 回目の浜松公演。人気の高い公演を浜松に招聘することで、市民の文化的需要を満たす。				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	81.9%	アンケート回収枚数 370 枚 回収率 28.8%			81.9 点
II 参加者等	券売率	85.7%	前回 2011 年時は完売だったが、今回は安い席のみ完売し、S 席・A 席は完売しなかった。		70 点
	入場率	81.6%			
	達成率	88.4%			
III 収支状況	収入率	125%	収支折半共催のため、支出減により収入増		90 点
	支出率	67.4%	舞台利用状況などにより減額。		
	財源投入率	0%	計画段階から投入予定無し。		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	81.9 点	30	24.6 点	
量的成果	II 参加者等	70 点	40	28 点	
	III 収支状況	90 点	30	27 点	
			合計	79.6 点	
状況・改善点	<p>テレビ局との共催事業。両社が経費を負担し損益分を折半。</p> <p>2011 年公演のリピーターが多かった。音色に関する好感想が多く、広報ターゲット設定は正しかったと言える。ストラディヴァリウスの生音を楽しんでいたという当初目標も達成。</p> <p>チケットは、完売には至らなかったものの、高い販売率で収支面でも良好な結果となった。それは、前回は参考に見込みを高く設定したが、実際にはかなり押さえることができたことも要因の一つ。次回企画時は経費見込みの見直しを考えたい。・前回、今回と良好な結果だが、次回は同じような結果になるとは容易には考えにくい。集客が落ちてきていることを考えると、プログラム構成や新規ターゲットなどを検討していく必要がある。</p>				

■事業概要					
事業名	ハンガリー国立歌劇場オペラ「椿姫」				
開催日・場所	平成 25 年 6 月 24 日 アクトシティ浜松 大ホール（中規模）				
基本方針分類	育てる・交わる（世界第一級の名門劇場によるオペラの鑑賞機会の提供及び市民の文化的満足度の向上）				
内容・目標	平成 25 年はイタリアの巨匠ジュゼッペ・ヴェルディの生誕 200 年記念年。「椿姫」はヴェルディの数々の名作の中でも、最も有名で人気が高いオペラ。また、この浜松公演では世界の主要歌劇場で活躍しているその才能と美貌により多くのファンを持つイタリアのソプラノ歌手エヴァ・メイをゲストとして加える。				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	88.2%	アンケート回収枚数 297 枚 回収率 26.3%			88.2 点
II 参加者等	券売率	78.1%	団体販売を積極的に行ったが、目標まで届かなかった。		70 点
	入場率	79.1%			
	達成率	89%			
III 収支状況	収入率	78.9%	団体販売割合が多く割り引き価格が影響。		70 点
	支出率	98.1%	ほぼ計画通り		
	財源投入率	143%	チケット収入が少なく予定より多く投入。		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	88.2 点	30	26.5 点	
量的成果	II 参加者等	70 点	40	28 点	
	III 収支状況	70 点	30	21 点	
			合計	75.5 点	
状況・改善点	浜松において、海外団体のオペラ公演を実施しているのは、当財団のみである。近年オペラの入場者が減少傾向にあったが、昨年度オペラ公演と今回を分析すると、少し上向き傾向になってきた。将来を考え、学生に安い金額でオペラを鑑賞できる機会を提供することにより、オペラの楽しさが伝わり、オペラファンになってくれることを望む。昨年度オペラ公演が 1 月にあり、5 ヶ月後の公演だったこと、開催日が月曜日だったことなどがチケット販売枚数に影響していると考えられる。今後は曜日・時期について慎重に検討していく必要がある。ただし、浜松における唯一のオペラ公演であることから、今後も継続して開催していくことに意義があると考ええる。				

■事業概要					
事業名	プラハ放送交響楽団 ピアノ：スタニスラフ・ブーニン				
開催日・場所	平成 25 年 7 月 2 日 アクトシティ浜松 大ホール（大規模）				
基本方針分類	育てる・交わる（世界第一級の名門オーケストラ・著名なピアニストの鑑賞機会の提供及び市民の文化的満足度の向上とクラシック層の裾野の拡大）				
内容・目標	音楽の都プラハを代表する名門オーケストラと、日本で人気の根強いスタニスラフ・ブーニン（ピアノ）との協演。プログラムはチェコやプラハにちなんだ馴染みある曲を揃え、クラシックファン層の拡大を狙う。				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	68.0%	アンケート回収枚数 609 枚 回収率 41.1%			68 点
II 参加者等	券売率	64.9%	知名度などによる販売数を予想していたが大きく下回ってしまった。		70 点
	入場率	64.0%			
	達成率	81.3%			
III 収支状況	収入率	62.2%	SS 席の販売が少なく収入に響いた		70 点
	支出率	110.2%	各項目にて若干の増。		
	財源投入率	15.3%	投入予定は無かったが収入源により投入		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 B
質的成果	I 目標達成度	68 点	30	20.4 点	
量的成果	II 参加者等	70 点	40	28 点	
	III 収支状況	70 点	30	21 点	
			合計	69.4 点	
状況・改善点	テレビ局・招聘会社との共催事業。3社が各経費を負担し、損益分を折半。知名度の高い演奏者だったが、チケット販売は低調。今後は知名度だけに頼らない公演企画が必要。また、演奏者が当日体調不良のため直前に演奏曲目を変更。苦情を多くいただいた。テレビCMなどの広報活動を積極的に行った結果の販売数のため、今後は類似の公演についての実施は慎重に検討しなければ行けない。				

■事業概要					
事業名	松竹大歌舞伎（昼の部・夜の部）				
開催日・場所	平成25年7月22日 アクトシティ浜松 大ホール（中規模）				
基本方針分類	育てる・伝える（歌舞伎鑑賞の機会を提供し、市民の文化的満足度の向上及び世界に誇る伝統芸能を次世代につなげる）				
内容・目標	毎年恒例となっている松竹大歌舞伎は、楽しみにされている市民の方が多い。大都市まで出掛けなければ観ることのできない歌舞伎の鑑賞機会を浜松市内で提供する。リピーターのお客様が多いが、新規顧客を獲得できるよう広報を行い、今後のリピーターへと変化させていきたい。また、若年層への鑑賞機会の提供を行うため、静岡県高等学校文化連盟の高校生へ働きかけをする。				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	73.0%	アンケート回収枚数 752枚 回収率 24.6%			73点
II 参加者等	券売率	94.4%	今回から幕見席を設定。目標を大きく超える結果となった。		90点
	入場率	94.4%			
	達成率	130%			
III 収支状況	収入率	123.4%	チケット収入増による。		90点
	支出率	91.5%	開催経費の削減を実施。		
	財源投入率	0%	当初より自主財源投入予定なし・実績もなし。		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	73点	30	21.9点	
量的成果	II 参加者等	90点	40	36点	
	III 収支状況	90点	30	27点	
			合計	84.9点	
状況・改善点	市民会館時代を含めアクトシティオープン以来長らく続いている年に一度の歌舞伎公演のため、恒例行事としてリピーターのお客様が多い公演の一つである。演目・演者により集客が影響されることが多い事業ではあるが、伝統芸術の振興を考え、今後も継続が望ましいと考える。今回からの取り組みとして、幕見席の導入や事前講座の開催、着物着用のお客様へのサービスや物販を地元名店に出店してもらうなど、「見に行く楽しみ」を試み、概ね好評だった。今後も継続して付加サービスを検討していきたい。				

■事業概要					
事業名	東京バレエ団<子どものためのバレエ「ねむれる森の美女」>				
開催日・場所	平成25年8月26日 アクトシティ浜松 大ホール（中規模）				
基本方針分類	育てる（市民の文化的満足度の向上及び若年層への舞台芸術の鑑賞機会の提供）				
内容・目標	家族で楽しめる良質なバレエ鑑賞の機会を提供することにより、文化の香り高い環境づくりを進め、市民の文化的満足度の向上とバレエ文化の振興。				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	90.3%	アンケート回収枚数 310枚 回収率21.4%			90.3点
II 参加者等	券売率	96.3%	チケット料金を下げたため、目標を超えて完売。		90点
	入場率	94.4%			
	達成率	111%			
III 収支状況	収入率	115.7%	チケット完売のため。		80点
	支出率	85.7%	各経費の削減による。		
	財源投入率	64.0%	当初予定より大幅減。チケット収入増による。		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	90.3点	30	27.1点	
量的成果	II 参加者等	90点	40	36点	
	III 収支状況	80点	30	24点	
			合計	87.1点	
状況・改善点	親子で楽しめるバレエ公演として企画したが、チケットが完売するなど潜在的な需要を大きく感じる。公演内容も日本トップクラスの団が演じ、演出も子どもにわかりやすく楽しめる内容のため、アンケート結果は非常に良好だった。バレエ人口の拡大を考えると若年層・保護者世代へのアピールとして非常によい結果となった。ただし、親子鑑賞を促すためチケット料金を引き下げ気軽な鑑賞機会を提供したが、その分自主財源の投入をしている。今後はチケット単価の適正な設定を調査研究し、財源投入をしなくても公演が開催できる方法を検討していきたい。				

■事業概要						
事業名	絵本と音楽の世界～子どものための読み聞かせコンサート 2013 (2回公演)					
開催日・場所	平成25年9月16日 アクトシティ浜松 音楽工房ホール					
基本方針分類	育てる・交わる(市民の文化的満足度の向上及び未就学児童も入場が可能な良質な公演の鑑賞機会を提供)					
内容・目標	絵本の朗読にハープの演奏を加えた当財団オリジナル企画。対象とするのは幼稚園児を主とした低年齢の子供とその保護者。良質な絵と心地良い音楽と優れた朗読により、絵本の物語の中へと誘い、楽しいだけではなく、目と耳、言葉と音楽によって好奇心や想像力を刺激し、子どもの豊かな心を育む。					
■事業成果と評価					評価点	
I 目標達成度(満足度)	91.4%	アンケート回収枚数 105枚 回収率 26.1%			91.4点	
II 参加者等	券売率	98.8%	ほぼ目標どおりの結果。		80点	
	入場率	97.8%				
	達成率	99%				
III 収支状況	収入率	109.6%	若干収入増。		60点	
	支出率	144.1%	初企画のため予想外の経費がかかった。			
	財源投入率	165.8%	支出増のため、投入額増。			
■評価総合結果						
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A	
質的成果	I 目標達成度	91.4点	30	27.4点		
量的成果	II 参加者等	80点	40	32点		
	III 収支状況	60点	30	18点		
			合計	77.4点		
状況・改善点	浜松出身のアナウンサーを起用して、当財団オリジナル企画として実施。チケットはほぼ完売したが、当日台風のため来場者は減ってしまった。本編以外に当財団所管施設と連携した会場前のアトラクションを行い、とても好評だった。チケット販売は当初鈍く、直近にて売れたため、広報戦略について再度検討を要する。初めての企画ということで予算計上に甘さがあり、当初の予定を越えてしまった。今後は今回を参考に正確な予算計上が必要。また、他都市への開催提案などを行い、経費回収を今後は検討していきたい。					

■事業概要					
事業名	池辺晋一郎&N響団友オーケストラ				
開催日・場所	平成25年11月3日 アクトシティ浜松 大ホール（中規模）				
基本方針分類	育てる・交わる（市民の文化的満足度を向上及び国内一流の演奏家による音楽鑑賞機会の提供）				
内容・目標	誰もが一度は耳にしたことがあるような、馴染みのある曲で前半をオペラ音楽、後半を映画やドラマ音楽で構成。作曲家・池辺晋一郎氏が指揮をする傍ら、ユーモアたっぷりのトークを曲間に入れることで聴きやすく誰もが楽しめる公演。オーケストラの公演を気軽に楽しんでもらえるようチケット単価を下げ、クラシックファン層の拡大を狙う。当財団オリジナル企画。				
■事業成果と評価				評価点	
I 目標達成度（満足度）	87.4%	アンケート回収枚数 397枚 回収率 37.3%		87.4点	
II 参加者等	券売率	63.5%	広報不足が影響しチケット販売は低迷。	60点	
	入場率	68.5%			
	達成率	75.0%			
III 収支状況	収入率	73.8%	団体販売などの割引が単価を下げ収入減の要因となった。	70点	
	支出率	94.6%	ほぼ予定通りの実施。		
	財源投入率	237.3%	収入減のため予定より自主財源投入額が増加。		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	87.4点	30	26.2点	
量的成果	II 参加者等	60点	40	24点	
	III 収支状況	70点	30	21点	
			合計	71.2点	
状況・改善点	<p>当財団オリジナル企画として実施したが、その分内容をうまく伝えることができず、チケット販売数に影響した。アンケート結果はよい内容が多かったため、魅力をしっかり伝える広報が不足していた。さらにクラシックファン層の拡大を狙い、チケット単価を安価にしたため、収入減にもつながってしまった。広報・金額設定など今後の課題としたい。総合判定も限りなくBに近いA判定のため、見直しが必要な事業である。</p> <p>また出演団体のご理解をいただき、高等学校へのアウトリーチ活動を行った。生徒・先生からは非常に好評だった。一流の演奏家と学生が触れ合う機会を今後も実施していきたい。</p>				

■事業概要					
事業名	ベルリン・フィル八重奏団				
開催日・場所	平成26年1月16日 アクトシティ浜松 中ホール				
基本方針分類	育てる・伝える（文化的満足度の向上及び世界最高峰の室内楽の魅力を市民が聴く機会を提供）				
内容・目標	世界最高峰のアンサンブルと称されるベルリン・フィル八重奏団による室内楽コンサート。母体のベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のトップ奏者および世界第一級の演奏家で構成され、中でも今回は第1コンサートマスターの榎本大進、首席ホルン奏者のシュテファン・ドール等が新たにメンバーに加わった「新生ベルリン・フィル八重奏団」として初の日本ツアー。世界最高峰の音楽を身近に聴く機会の提供をし、文化的満足度の向上及び室内楽の魅力発見につなげる。				
■事業成果と評価				評価点	
I 目標達成度（満足度）	85.4%	アンケート回収枚数 171枚 回収率 18.1%		85.4点	
II 参加者等	券売率	100%	完売。	90点	
	入場率	95.8%	当日の来場数が券売数よりかなり少なかった。		
	達成率	124%	目標を上回り完売のため。		
III 収支状況	収入率	116.3%	完売のためチケット収入増。	80点	
	支出率	102.1%	若干経費増。		
	財源投入率	71.6%	チケット収入増ため当初予定より投入額減少。		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	85.4点	30	25.6点	
量的成果	II 参加者等	90点	40	36点	
	III 収支状況	80点	30	24点	
			合計	85.6点	
状況・改善点	完売した人気公演だが、内容も世界トップクラスの物であり、集客と内容がマッチした事業と言える。普段なかなか聞く事の出来ないアンサンブル（八重奏）を多くの聴衆に聞いてもらえたことは、新たな音楽の魅力発見につながると考えられるので、今後もこのような企画は検討していきたい。ただし、自主財源を投入していることを考えると、収支面の改善を検討しなければいけない。世界トップクラスの音楽を提供する場合のチケット単価の設定が悩ましいところだが、今後も適正な価格を設定し、その金額に見合う価値のある公演ということをしっかりと広報・説明していく必要がある。				

■事業概要						
事業名	アクトシティ能・狂言プレイベント これは知らなかった！能・狂言のとおきの楽しみ方					
開催日・場所	平成26年3月3日 アクトシティ浜松 大ホール（中規模）					
基本方針分類	育てる。伝える（室町時代から700年間にわたり続いている伝統芸能の魅力を発信。基礎知識等を説明し、なじみの少ない伝統芸能をより近くに感じてもらう。）					
内容・目標	日本の伝統芸能「能・狂言」の魅力をもっと身近に感じていただけるように、実際の上演を交えて分かりやすく解説し、敷居が高いと敬遠されている「能・狂言」のイメージを和らげる。また、平成26年度に開催するアクトシティ能・狂言のプレイベントとして開催し、誘客につなげる。なお、入場無料・整理券方式にて開催。					
■事業成果と評価					評価点	
I 目標達成度（満足度）	73.8%	アンケート回収枚数 584枚 回収率 43.3%			73.8点	
II 参加者等	券売率	177.9%	自由席のため過去の経験を踏まえ設定。		90点	
	入場率	85.5%	自由席のためほぼ満席状態。			
	達成率	107%	入場目標を上回る。			
III 収支状況	収入率	%	入場無料。		80点	
	支出率	83.2%	各経費削減のため減。			
	財源投入率	83.2%	経費削減のため減。			
■評価総合結果						
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A	
質的成果	I 目標達成度	73.8点	30	22.1点		
量的成果	II 参加者等	90点	40	36点		
	III 収支状況	80点	30	24点		
			合計	82.1点		
状況・改善点	<p>入場無料で開催しているシリーズで、次年度の能・狂言への誘客として継続している。収入がないため、すべての経費を負担しているが、昨年度に比べ来場者も増え、事前に整理券の予定枚数が終了したり、アンケート回収率が高いなど、お客様の期待の高さが感じられる。入場整理券は市内施設での直接配布のみだったが、今後は利便性を考えて新たな配布方法も検討していく必要がある。</p> <p>事業内容は評価が高いものだが、収入がない運営方法をしているため、需要をしっかりと把握しながら継続を検討していきたい。また、今後は有料公演へ切り替えることも視野に入れていく。</p>					

平成26年10月2日

公益財団法人浜松市文化振興財団 文化事業課

〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町111-1

TEL053-451-1114 FAX053-451-1123

http://www.hcf.or.jp e-mail: event@hcf.or.jp